



直接貿易意見書

3433



直接貿易意見書

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈



凡直接貿易ノ事タルヤ我國ニ於テ政畧上ヨリ之ヲ論究ス
ルモ理財上ヨリ之ヲ推究スルモ目下其欠ク可ラサルノ要
領タルハ固ヨリ言ヲ族タス故ニ直接貿易ノ利用ハ茲ニ之
ヲ論セス

向ニ政府カ三百萬円ノ資財ヲ正金銀行ニ下附セラレ普ク
直接ノ貿易者ヲ誘導保護セラル、ノ舉アリレヨリ直接貿
易ハ一般人心ノ誘起スル所トナリ隨テ貿易商社ハ合同ノ
念ヲ生シ陸續振起シテ既ニ七八會社ヲ設立スルニ至レリ
今ヤ直接貿易ハ識者ノ輿論トナリ廟堂ノ政畧ニ出ツルモ
ノ、如シ果シテ然ラハ政府人民共ニ力ヲ盡シ將來大ニ期
スル所ナカル可ラス然ト虽モ直接貿易着手ノ利害貿易商
社ノ期スルキ目的ヲ考視スルニ未タ其名アツテ其業ヲ執

ル能ハス假令ヒ其業ヲ執ルモ全國ノ貿易者ヲシテ十分ノ
目的ヲ得セシムルニ難シ是レ事ノ創始ニ出テ、未タ其方
法ノ良善ナルヲ見ス人ノ不訓ニシテ着目ノ適當ヲ得ル能
ハサルニ由ルナリ夫レ我邦開港以來貿易ノ日ニ月ニ盛ン
ナルモ輸入品ハ其元價如何ヲ辨スル能ハス輸出品ハ販賣
地ニ於テ其真價如何ニ知ルニ由ナク單ニ我開港地ニ臨
ンテ之ヲ賣買スルヲ知ルノ人民ナレハ茲ニ始テ直接貿易
ノ利用ヲ漏聞レ今ヤ之カ業ヲ執テ望外ノ利益ヲ得ルモノ
ト想像スルモノ多ク偶マ海外ノ商況ヲ知ルモノアリテ既
ニ製糸等ヲ輸出スルモノ固ヨリ彼我ノ相場ヲ照考シテ賣買
ノ正理ニ基クニ非ス之ヲ要スルニ銀貨ノ昇高ヲ待ツモ
ニシテ乃チ目下銀貨ノ下直ナルニ際シテ之ヲ輸出シ其之
カ代價ヲ得ル時ハ必ス銀貨ノ高貴ナルモノト察シタトハ

製糸ノ價格ニ於テ幾分ノ損失アルモ紙幣銀貨ノ差異ニヨ
ツテ利ヲ占ント希望スルモノニシテ決シテ直接貿易ノ正
理ニ基クノ精神ニ非ルナリ今ヤ直接貿易ノ流行ヲ競ッ
勢アリト雖氏其實際ニ就テ反復考按ヲ下セハ乃チ直接貿
易ハ言フニ易クシテ之ヲ為ス甚タ難シ若シ夫レ目下人民
ノ想像ニ出ツルカ如キ望外ノ利益ヲ得ンコトヲ欲シテ輕々
貨物ヲ輸送スルトキハ反シテ莫大ノ損害ヲ蒙ルハ疑ヲ容
レサルナリ況ンヤ保護成規ノ十分ナラス其人ニ非スレテ
此事ヲ任スルニ於テオヤ故ニ全國ノ貿易者ハ直接ノ貿易
ノ為メニ大ナル損害ヲ蒙ルニ至ルヘキモノト信認セリ若
シ果シテ然ラハ政府ハ直接ノ貿易ヲ誘導シテ却テ全國ノ
貿易者ニ損害ヲ與フルモノト言ハサルヲ得ス是ニ於テ之
ヲコレハ直接ノ貿易ヲ関カントスルニ方リ之ヲ保護スル

カ為ノ必勝ノ目的ヲ確定スルハ最モ今日ノ緊務ナリトス
直接貿易ニ於テ必勝ノ利益ヲ期センニハ先ツ内外高民カ
貿易ヲナス資財ニ就テ其結果ノ損益如何ヲ講究セサル可
ラス故ニ茲ニ内外人民ノ該貿易ニ要スル資本ノ利子上ヨ
リ起算シ彼我消費額ノ比較ヲ示スト尤ノ如シ

外國人民ノ計算 (甲号)

外國商人ノ貨物ヲ輸出スルニハ皆參着後六ヶ月渡し
ノ為替相庭ヲ以テ荷為替ヲ取組ムヲ常トス而テ其為
替允ソニヶ月ノ間ハ往復ノ中途ニ在ルト見ルカ故ニ
先ツ八ヶ月ヲ期スルモノナリ蓋シ此ノ八ヶ月ノ間ハ
利子ヲ附スルトナレト雖其為替相庭ニ於テ六ヶ月
渡リノ為替ト參着直渡リノ為替ト自ラ相場ヲ異ニス
ル常ニ一片子ノ差アリ此差ハ六ヶ月渡しノ為替相場

ニ比スレハ百円ニ付貳円貳拾七錢ノ差ヲ生シ即チ年
三分四厘ノ利子ニ當ルカ故ニタトヘハ拾萬円ノ額ニ
シテ二千二百七十円ノ利子ヲ拂フノ理由ナリ
又為替額ハ生糸白蠟樟腦銅等ノ如キ價格ノ非常ニ變
動セサルモノハ運賃請負及ヒ雜用等ヲ込メテタトヘ
ハ十萬円ニ上ルトスルモ其價格ニ充ツル十萬円ノ為
換ヲ貸シ出スナリ其他相庭未定ナルモノハ九分或ハ
八分爲換ヲ貸スアリ其之ニ十分ノ爲換ヲ貸出ス所以
ノモノハ獨リ其貨物ノミヲ抵當トスルニ非ス爲替ヲ
乞ハント欲スル者ヲ信用スルニ由ルモノナリ然レモ
通常ヲ以テ之ヲ論シ假リニ外國人輸出ノ貨物ハ貨物
相庭ノ九分通りヲ貸附ルモノトシテ之カ計算ヲ試シ
ルトキハ拾萬円ノ内九萬円八年三分四厘ノ利子即ニ

千。三十九円九拾錢余拂ヒ残り壹萬円ハ我開港地ニ於ル外國銀行普通ノ利子年壹割ヲ以テ算スレハ即六百六拾六円余ヲ費スノ理由ナリ
以上ノ費用ヲ合計スレハ外國人民ノ貨物ヲ輸出スルノ消費額ハ即貳千七百。六円即百円ニ付二分七厘。六ニ當ルナリ

内國人民ノ計算 (甲号)

内國人民海外ニ貨物ヲ輸出スルニ方リ正金銀行ニ就テタトハ拾萬円ノ額七分通リヲ年六厘ノ利子付ヲ以テ為換ヲ乞ヒ貨物ヲ海外ニ輸出シテ外國六ヶ月渡リ為換ト同ク八ヶ月ヲ据置クモノトスレハ七万圓利子即貳千七百九拾円余トナリ殘ル處ノ參万圓ノ資金ニ年壹割八歩ノ利子ヲ附シテ算スレハ即三千六百

円ナリ

以上ヲ合計スレハ内國人民ノ海外ニ貨物ヲ輸出スルノ消費額ハ即六千三百九拾円ナリ
右ニ掲クル内外人民ノ消費額ヲ比較スレハ内國人民カ海外ニ貨物ヲ輸出スルニ付テノ消費額ハ外國人民ヨリ増ス
一千七百三十四トナルナリ蓋シ此額ハ即今日下正金銀行ノ成規ニ於テ直接ノ貿易ヲナスモ外國人民ニ比シテ内地人民ノ損失ヲ負フヘキ理由ノ著シキモノトス此ノ如ク内外人民ノ上ニ於テ利子ノ高低ニ係ハル損益アルヲ以テ見レハ今直接ノ貿易ヲ擴張セントスルモ外國人民ニ對シテ競争ヲナスノ算利アルトナレ尚之ヲ推究スルニ我開港地ニ於テ内外人民共ニ同價ヲ以テ同貨物ヲ買ヒ之ヲ海外ニ輸出シ之ヲ販賣スルニ方ツテ外國人民ハ内國人民カ賣

出ス價ニ比シテ三步七厘三毛ノ割引ヲ為シ之ヲ廉價ニ賣
出スモ尚損失ヲ蒙ルヲナシ又我開港地ニ於テ貨物ヲ買収
スルニ方リ前陳損益ノ理由ニヨレハ外國人民ハ內國人民
ヨリ高價ニ買収シテ彼販賣地ニ於テ內國人民カ販賣スル
處ノ同價ニ賣出スモ外國人民ハ內國人民ニ比シテ殊更ニ
失算ヲ見ルヲナキ道理ナリ此ニツノ自由ヲ外國人民ノ為
ニ收得セラルハ豈内地人民ニ於テ之ヲ不利ト云ハサル
可ケンヤ

蓋シ我開港地ニ於テ外國人民カ內國人民ノ買収スル價ニ
比セハ貨物ヲ高價ニ買収スルヲ以テ我物産ノ價格ヲ騰進
スルモノナレハタトハ直接ノ貿易者カ其害ヲ蒙ルモ他製
産者ハ自カラ利益ヲ進ムルノ理ナリ果シテ此ノ如クナル
ヲ得ハ内地製産者ハ其利益ヲ増進シ其影響ハ全國ノ輸出

品ヲ増殖シ全國ノ理財ヲ保護スルニ至ルヘントスルモ彼
レカ開港地ニ於テ買得スル處ノ貨物ヲ廉下ニ求メ海外販
賣地ニ於テ之ヲ販賣スルニ接シ廉下ニ賣出ストキハ其貨
物ノ相場忽チ彼レカ賣出ス處ノ價格ニ據リ我人民ノ海外
ニ於テ販賣セント希望スル價位ヲ得ル能ハス遂ニ直接ノ
貿易者ハ失敗ヲ招クノミナラス全國輸出品ノ價ハ之カ為
ニ却テ廉下ヲ促スノ道理アリ故ニ識者ハ細カニ此理由ヲ
考察セサル可ラス

又假令ハ爰ニ内外人民共ニ均ク十万円ノ資本ヲ以テ海外
ノ貿易ヲ競争シ其貨物ヲ買得スルモ同價ニシテ之ヲ販賣
スルモ亦同價ナリ而テ其一ケ年ノ間ノ利益モ同ク一万八
千円ヲ得ンニ内地人民ハ我當時普通ノ利子年率割八歩ノ
利金ヲ拂ヒ出スモノト見レハ前ニ得ル所ノ利益ハ僅カニ

其利子ヲ購フヲ得ルモ其貿易ニ属スル處ノ雜費ハ全ク
損失ニ飯スルナリ又外國人民ハ普通ノ利子年四未ヲ以テ
此貿易ヲナシタルモノトセハ得ル處ノ益金ヲ以テ四千円
ノ利子ヲ拂フモ一萬四千円ノ利益アリ彼レ更ニ閩港地外
國銀行普通ノ利子年壹割ノ金ヲ借りテ之ヲナスモ猶八千
円ノ利益ヲ割ス然ラハ則チ目下ノ如キ金融壅塞利子高貴
ナル時ニ接シ外國人民ト競争シテ海外ノ貿易ヲナスハタ
ハ相當ノ利益ヲ得ルヲアルモ其要スル所ノ資本ニ對シ
テ内國人民ハ大ニ其利益ヲ減縮スルヲ以テシレハ外國人
民ニ競争シテ勝利ヲ得ルノ道理ナキヤ明カナリ是レ獨リ
貿易ヲナスノ競争力ヲ失スルノコニアラス其輸入ニ仰
ヘキ工業品ヲ模造スルカ如キモ皆此道理ヲ免レサルモノ
ナルヲ以テ目今ノ如キ利子高貴ナルトキハ内地ノ此ノ高

業ニ関スルモノハ暫ク置テ論セス苟モ外國人民ト競争ニ
係ル處ノ工業及ヒ貿易ニ於テ一切勝利ヲ得ルノ目的ナレ
ト斷言スルモ敢テ我輩ノ過言ニハ非ルヘシ
抑モ目下直輸貿易ヲ為スニ方リ此ノ如ク内外人民ノ上ニ
要スル所ノ資財ニ於テ損益ノ著明ナルモ猶之ヲ関キ彼我
競争シテ必勝ヲ期シ得ヘキモノハ只其資本ノ如何ニ在ル
ノコト故ニ政府ハ此直接貿易ヲ擴張シ必勝ヲ期セシメント
欲セハ更ニ歳入ノ内ヲ割テ無利足ノ資金ヲ備ヘ此金額ハ
全ク輸出ノ貿易ヲ保護スルモノト確定シ仮令若干ノ損失
ヲ生スルヲアルモ敢テ之ヲ顧ミサルノ勇斷ヲナサハル可
ラス
蓋シ政府カ貿易ヲ保護スル定額ハ假リニ之ヲ壹千萬円ト
定メ此壹千萬円ノ資金ハ之ヲ無利息貸與ト断定シ其之ヲ

貸與スルハ其時處位ニ由テ或ハ利子ヲ附シ或ハ利子ヲ増減シ或ハ無利子トシテ實地ニ能ク其効力ヲ與フルノ注意ヲ以テ之ヲ保護セサル可ラサルモノトス今試ニ其方法ヲ述ルテ左ノ如シ

直接ノ貿易ニ實際ノ保護ヲ與ヘント欲セハ先ツ我製産者カ製産シタル物産ヲ賣買スル實況ヲ確知セサル可ラス蓋シ内地製産者カ貨物賣買ノ實況ヲ見ルニ其之ヲ開港地ニ運搬シタル以上ハ之ヲ價金ニ代ルノ一方ニノニ注意スルモノニシテタトヘ之ヲ販賣スルノ機會ヲ得サルモ金融ヲナサント欲セハ直ニ之ヲ抵當トシテ貸借ヲナスノ道アルモノナリ故ニ製産者及ヒ商民ハ既ニ貨物ヲ開港地ニ運搬シタル後ハ格別頭腦ヲ苦レノサルモノトス然ルニ金融壅塞スル時ニ方リテハ貨物製産地ニ於テ貨物ヲ製産シ或ハ

之ヲ買得セントスルカ為メニ其資本ヲ要スルモ容易ニ之ヲ得ル能ハス偶マ之ヲ得ルモ利子高貴ナルカ故ニ生スル處ノ利益ヲ以テ其利子ヲ償フニ足ラサルハ目今ノ實況トシテ製産者ハ其製産物ヲ製スルニ苦レシ商民ハ製産地ニ之ヲ買收シテ開港地ニ之ヲ運搬スルノ利便ヲ得ス之カ為メニ輸出品ハ亦既ニ減省セントスルノ景況アリ又資財乏キヲ以テ製産物ハ品位ヲ低落シ或ハ其原價ヲ高貴ナラシムルモノ多シ是ニ於テ今直接ノ貿易ヲ開キ輸出品ヲ増殖セシメントスルニ注意セハ内地製産者及ヒ輸出貿易者カ資力ノ便宜ヲ與ヘサル可ラス乃チ製糸家ハ繭ヲ買ヒ之ヲ糸トナサシムルノ資力ヲ助ケ製茶家ニハ之ヲ蒐集スルノ融通ヲ與ヘ其他ノ製産者工業家ノ如キ充分ノ保護ヲ附與スルニアラサレハ特リ其開港地ニ於テ輸出ノ為替ヲ助ク

ルモ彼我要求スル處ノ資財ニ係ル消費額ノ異同アルニ於テハ直接貿易者ハ遂ニ其利益ヲ得ル能ハス利益ヲ得ル能ハサル時ハ直接貿易ノ隆盛ヲ將來ニ期セントスルモ其目的ヲ得サルヤ言ヲ待サルナリ故ニ今直接貿易ヲ開リニ就テ最モ要點ナルモノハ前陳ノ如ク第一ニ製産地ニ於テ製産者及ビ輸出貿易商人ヲ保護シ第二ニ開港地ニ於テ為替等ノ利便ヲ保護セサル可ラス

製産地ニ於テ製産者及輸出貿易者ニ保護ヲ加フルノ方法ハ其事業ニヨリテ一ヶ月乃至六ヶ月ヲ限り其資本ヲ援助シテ貨物ヲ開港地ニ搬出スルノ便宜ヲ與フルモノトス而テ其貨物ハ之ヲ海外ニ輸出スルト開港地ニ於テ販賣トハ貸主ノ自由ニ任スヘシ蓋シ貸付タル資金ハ固ヨリ直接貿易ヲナスニテ保護スルノ意旨ニアレハ從テ下文ノ

如ク保護ノ方法ヲ區分セサル可ラス

茲ニ初メ製産者及ビ輸出貿易商人カ直接ノ貿易ヲナサンカ為メニ保護ヲ得タル貨物ヲ開港地ニ運搬シ來ルノ後其主義ヲ反シ直ニ開港地ニ於テ貨物ヲ販賣セント欲スルモノアルハ其貸付タル資本ニ時價相當ノ利子ヲ附スハ又直接貿易ノ主義ヲ全フスルモノハ特別ニ其利子ヲ減少シテ直接貿易者ヲ保護勸誘スヘシ但シ斯ノ如ク直接ノ貿易者ニ保護ヲ與フルトキハ外國人民ト競争シテ大ニ我ニ利便ヲ得ルノ要點アリ何トナレハ其直接ノ貿易者ハ特別ナル輕利ノ資本ヲ以テ之ヲ買得シタル貨物ナリ又開港地ニ搬入シ來ル他人ノ貨物ハ普通ノ高利ヲ負セタル資本ヲ以テ買得シタル貨物ナレハ其利子ノ高低ニ由テ自カラ原價ノ異同アリ故ニ開港地ニ於テ内地人民ノ普通ニ販賣

スル必ノ相場ハ利子ノ高貴ナル資本ヲ以テ買得シタル貨物ナレハ之ニ應シテ必ス其相場モ亦高キニ位スヘシ外國人民ハ其高貴ナル原價ノ貨物ヲ買得シテ之ヲ海外ニ輸出スルモノナレハ外國人民ノ輸出スル貨物ノ原價ハ高直ナルモノニ當リ内地人民ノ輸出スル貨物ハ特別ノ保護ニ由テ其原價ハ自ラ廉ナルモノトス爰ニ於テ内地人民ハ一ノ利便ヲ得テ彼我ノ競争カヲ我ニ占有スルニ至ルハ自然ノ理勢ナリ

又直接ノ貿易者ノ其主義ヲ全フシテ愈海外ニ輸出ヲナス者ハ船積証文持参スルヲ以テ証トシ速ニ九步通りノ為替金ヲ貸附スヘシ生糸樟腦白蠟等ノ如キ非常ノ高下ナキモノハ此例而テ歐羅巴ハ八ヶ月亞米利加ハ七ヶ月支那ハ五ヶ月ヲ限リ俄附セシ為替金ハ無利息ト定ムヘシ若シ此期

限ニ迫ルモ貨物ノ相場下直ニシテ販賣スルノ時機ヲ得ス止ムヲ得ス販賣スルヲ能ハスレテ為替期限ヲ延スモノハ一ヶ月ニ付ニ朱ツ、ノ利子ヲ附課シ猶ニヶ月ヲ延ス、ハ一ヶ月四朱三ヶ月ヲ延スモノハ一ヶ月六朱ト言フカ如ク月々ニ二朱ヲ増加シテ都合十二ヶ月ニ至レハ必ス此為替金ヲ納ムルモノトス

但シ此方途ニ由ツテ彼我競争スルニ我ニ利便アルモノニ点アリ其一点ハ外國人民ノ為替ハ前陳ノ如ク年三步四厘ニ當リ我為替ハ乃チ無利息ナル是ナリ又其一点ハ外國荷為替ハ参着六ヶ月ノ期限アリテ其期限ニハ必ス為替ヲ拂ハサルヲ得ス故ニ其販賣地ニ於テ賣買スル仲買人ハ其貨物ノ為替金拂ヒ期限ヲ豫察シ荷主ノ之ヲ賣却スルノ時機ヲ待チ賣買ノ掛引ヲナス風習アリ然ルニ

我貨物ハ為替拂ヒ期限ハヶ月ニ至ルモ前陳成規ノ利息
ヲ納ムルトキハ尚之ヲ延引スルノ自由ヲ得ル是ナリ仍
テ此二点ハ全ク我直接貿易者カ特別ノ保護ヲ蒙ルノ利
便ト云フヘシ

前陳ノ如ク政府カ直接ノ貿易者ニ特別ノ保護ヲ與フルニ
於テ再々彼我人民貿易ヲ為スノ損益如何ヲ左ニ掲ク

外國人民ノ計算 (乙号)

此消費額ハ甲号ノ比較ト同ク乃チ十萬円ニ付其額惣
計貳千七百〇六円ナリ 百円ニ付式歩七厘〇六

内國人民ノ計算 (乙号)

甲号消費額比較ノ推算ハ変レテ左ノ如シ
ハヶ月無利息

但シ拾万円ノ内九步通り無利息為替ヲ貸スモノト

スレハ差シ金ハ壹万円ニシテ此利子年壹割八步ト
假定シ乃チ壹千三百円ナリ

以上内外人民ノ消費額ヲ見ルニ甲号ノ比較ニ於テハ内地
人民ハ外國人民ニ比レテ三千三百三十円ノ額ヲ増加スル
ニ乙号比較ニヨレハ特別ノ保護ニ依テ我人民ハ外國人民
ニ比レテ千四百円ノ餘裕ヲ收ムルノ計算ヲ得之ニ加フルニ
前陳ノ如ク政府ノ保護ヲ蒙ルニ於テハ内國人民ハ其産
出地ヨリ開港地ニ搬出スル迄ノ資本ハ特別ノ輕利ニ因テ
其貨物ヲ買收シタルモノナレハ之ヲ外國人民カ開港地ニ
於テ買收シテ之ヲ輸出スルモノニ比スレハ 外國人民カ開港地ニ於テ買
收スル處ノ貨物ハ内地高民カ目下高貴ノ利子ヲ附シタル
資本ヲ以テ開港地ニ搬入シタルモノナルカ故ニ其原價自
ラ高貴ニ当ルノ道理 其原價ノ廉ナルハ論ヲ待タス故ニ乙
号但書ニ掲クル内國人民ノ消費額千三百円ハ其實際ニ於

テ全ク之ヲ拂フニ及ハサルノ計筭ヲ有スルモノ、如シ果
レテ然ラハ内地人民ハ外國人民ニ比シ特別ノ利便ヲ得初
テ外國人ト競争ヲナスノ實カヲ生シ初テ必勝ヲ期スルノ
目的ヲ得ルモノナリ然ラハ則チ内地人民ハ直接ノ貿易ヲ
為スニ方リ必ス利益ヲ失ハサルノ道理アルカ如シト虽モ
亦回顧スレハ其從事者ノ知識ハ彼レト同日ヲ以テ語ル可
ラス加フルニ我人民ハ海外ニ欲出シテ海外ノ高業ニ闖リ
且ツ一語ヲ交ルカ如キモ通辨ニ由ラサレハ之ヲ辨スル能
ハズ又既ニ海外ニ在テハ我人民ニ對シ彼レノ信用ヲ置リ
テ薄ク却テ愚弄ヲ免レサルノ情状アルニ於テハ前陳ノ如
キ我ニ十分ノ勝算アルモ其實際容易ニ必勝ヲ期スル能ハ
サルモノト言ハサル可ラス故ニ今直接ノ貿易ヲ擴張シ一
ハ以テ全國ノ財政ヲ救済シ一ハ以テ貿易ノ權利ヲ收得セ
ントノ大目的ヲ立ルニ方ツテハ識者最モ深ク前陳ノ利害
ヲ熟思シテ斷行スル所ナカル可ラス

正金銀行之事

直接ノ貿易ヲ保護スルカ為メ要スル處ノ資本金ハ壹千万
圓ト假定シ共一千萬圓ハ政府ノ豫算上ニ於テ之ヲ無利息
ト断決シ以テ之カ実施ヲ為スニ其時地位ニヨリテ或ハ利
子ヲ附シ或ハ之ヲ増減シ實際ニ其効力ヲ得セシメントス
ル目的ヲ以テ取扱ヒノ方法ヲ設クルト左ノ如シ

第一節

資本金壹千万圓ノ事

直接ノ貿易ヲ保護スル一千萬圓ハ前陳ノ貿易会社部分ノ
數節ニ於テ取扱ノ方法ヲ陳ルカ如ク時地位ニ於テ利子ヲ
附課スルモノトセハ周年ヲ平均シテ月一分ノ利子トシテ
凡ソ三四月分ヲ得ルモノ、如シ之ヲ概シテ月一分三ヶ月
半ノ利子ヲ得ルモノトセハ即一ヶ年三於五萬圓ノ收額ト
スル故ニ共三十五萬圓ヲ以テ正金銀行ハ内外ノ要地ニ支

店ヲ設ル費用トナシ猶其餘金ヲ以テ直接貿易ヲ保護スル
公費ニ支辨スヘシ

第二節 正金銀行支店設置之事

正金銀行ノ支店ハ直接貿易ノ隆盛ニ進ムニ隨ヒ政米各國
ノ内緊要ノ地ニハ之ヲ設ケサルヲ得サルノ勢ヲ來スハ期
シテ見ルヘシト雖ヒ我政府ノ保護ヲ得タル正金銀行ノ名
譽ヲ以テ今歐米各國へ支店ヲ開ント欲セハ名譽ト同ク壯
觀ナル家屋等ヲ設ケサルヲ得ス然ルニ其消スル所ノ費用
ト其期スル所ノ事務ト較計スレハ未タ壯觀ナル設置ヲ要
スルノ時ニ非ルナリ故ニ當分ノ内政米各國ノ如キハ確實
ナル銀行ヲシテ正金銀行ノ代理ヲラシメ或ハ其欠ル所ア
ルハ領事官ニ於テ之ヲ負擔スルモノトスヘシ然リト雖ヒ
我接近ノ支那地方ノ如キハ速ニ支店ノ設ケナカル可ラス

而テ其最モ先ニスヘキハ上海ニシテ之ニ次クモノハ香港
トスルナリ

第二節 直接貿易ヲ保護スル公費之事

直接ノ貿易ヲ擴張セント欲セハ我物産ヲ販賣スルニ切要
ナル外國市場ノ商況ヲ審カニセサル可ラス之ヲ審カニセ
ンニ欲セハ相當ノ費用ヲ備ヘサル可ラス抑モ我物産ヲ販
賣スルニ適要ナル市場ニハ我貿易会社ノ支店ヲ設置スル
モノアルハ論ヲ俟タズト雖ヒ至急ヲ要スル商況ヲ報スル
ニハ電報ノ費用アリ政米各國ノ電報ハ若干ノ語ヲ通スル
如キハ自ラ之ヲ購置ヒ得サス会社ニシテ電信ノ費用ノ其他高
況ヲ明了ニセント欲セハ領事官書記官中ニ於テ其人ヲ任
撰セシメ大ニ注意ヲ要セサレハ其信嚮ヲ得難シ又商況ニ
コソテハ更ニ人ヲ派出シテ探偵ヲ要スルヲアルヘシ故ニ

是等ノ費用ハ第一節ノ餘金ヲ以テ支辨シ厚ク保護ヲナス
ヘシ

但シ各貿易会社支店ノ者ト虽氏一般ノ高況ヲ報告スル
最要用ノ為メニ飯朝ヲナストアルトキハ其要ノ如キ飯朝
ヲハ必ス管理官トノ認可ヲ獲船賃ノ如キハ特別ニ公費ヲ以
テ支給スヘシ何トナレハ該会社一己ノ損益ニ関スルモ
ノニ非スレテ一般ノ損益ニ係ルカ故ナリ

第四節 正金銀行内地為替金之事

正金銀行ニ於テ内地製産者ヲ保護スルノ方法區別左ノ如
シ
其一製産者カ直接ノ貿易ヲナサシカ為メ製産地ヨリ
開港地ヘ貨物ヲ輸ルノ時為替ヲ乞フノ一種即通常荷
為替ノ類ヲ云フ

此方法其製産地便宜ノ土地ニアル国立銀行ハ假リニ
正金銀行ノ代理トナリ為替金ヲ貸與スヘシ蓋シ為替
金ヲ貸與スルトキハ先ツ貿易会社カ輸出ニ供スヘキ
貨物タルヲ保証シタルノ貨物ナリヤ否ヤヲ調査シ乃
チ輸出ニ供スルノ貨物タルヲ檢知シテ後其貨物額ヲ
檢査シ其品物ニヨリ六分通りヨリ八分通り迄ヲ限リ
貸與スルモノトス該国立銀行ハ適宜ノ為替手数料ヲ
取得シ正金銀行ハ右貨物ノ開港地貿易会社ヘ到着シ
テ船積ヲナス迄ノ日數ニ應シ成規ノ利子ヲ取得スル
モノトス

但シ貿易会社カ保証ヲ要スル所以ノモノハ一ハ貨
物ノ品位ヲ善良ニ勸ムルノ注意一ハ直輸出物品ノ
額ヲ豫算シ輸出物品ノ總額ヲ適宜ニ判定スルカ為

ナリ若シ之ヲ自然ニ放任スルハ為替ヲ借シカ為
メニ貨物ノ善悪ヲ論セス無法ニ貨物ヲ持出シ遠ニ
其處分ヲナス能ハサルノ弊害ヲ醸成スヘシ故ニ貿
易会社ノ部分第十節ニ於テ定メタル順序ニ據ラシ
ムヘシ識者之ヲ照考アレ

其二期限ヲ定メ前為替金ヲ貸與スルノ一種乃直接貿
易品ヲ目的トシ前金ヲ貸與スルモノヲ云フ

其方法貨物ニヨラテ其取扱ヲ異ニスヘシト虽氏要ス
ルニ前金ヲ借ルモノハ尤ノ方法ニ依ラサルヘカラサ
ルモノトス

前金ヲ貸スモノハ一人一個ノ營業者ニ對シテハ容易ニ之
ヲ許サ、ルモノトシ必ス共同ノ会社ヲ保護スルモノトス
蓋シ特ニ共同会社ヲ保護スル所以ノモノハ今ヤ政府ニ於

テ直接ノ貿易ヲ誘導スルノ聞ヘアルヨリ人民ハ競フテ會
社ヲ設立スルノ情状ヲ揮發セリ是レ政府カ保護スルトノ
主義ニ感動スルニ由ルナリ然レハ則チ其氣勢ヲ失セス製
産者ニ共同力ヲ起サシメ漸次全國人民ヲシテ共同ニ非レ
ハ工商業ヲナス能ハサルノ實驗ヲ興ヘントスルニアリ加
フルニ共同ノ会社タルトキハ固ヨリ無限ノ責任タルヲ以
テ抵当物ニ故障ヲ生スルモ其元金ハ必ス失フ可ラサルノ
便アリ其ヲ以テ共同ノ會社ハ特別ノ方法ヲ設クヘキナリ
但シ共同会社タルモノ保護ヲ請ハントセハ地券ヲ管轄府
縣廳ノ勸業課ニ預ケシメ其及別真價ヲ詳記シタル課ノ
預リ証書ヲ以テ抵当トナサシムルト貿易会社ノ保証トノ
貿易会社ニ陳ス部ニツヲ以テ認可スルモノトス
但シ一人一箇ノ營業ニ係ルモノ、内工業場或ハ製造器

械等ヲ所有スルモノハ本條共同会社ニ准シテ之ヲ保護
シ若シ正金銀行ノ金融ニ餘力アルハ特別ヲ以テ一人
一個ノ營業者ヲモ保護スルヲアルヘシト虽氏必ス公債
証書ノ抵当ヲ要スルモノトス

第五節 前為替金期限之事

第四節ニ於テ貸與スル前為替金ナルモノハ其貸物ニ由ツ
テ期限ヲ伸縮スルト其土地ノ遠近ニヨツテ期限ヲ定ムル
ノ二種ニ區別セサル可ラス何トナレハ東京接近ノ運搬便
宜自由ナルノ地ハ一ヶ月ノ間一二回モ横濱港ニ賣買ノ便
ヲナス故ニタトヘハ生糸ノ如キ製産者ニ前金ヲ貸與シ若
シ其期限ヲ長クスルキハ其期限ニ至ルマテノ内ニ其資本
ヲ以テ之ヲ買収シ閑港地ニ積出シ之ヲ賣リ而テ其期限ノ
際ニ至ツテ更ニ生糸ヲ買取り特別ノ保護ヲ受タル前為替

金ニ對スル生糸ナリト称スルモノアルモ知ル可ラス又金
融壅塞ノ際横濱ノ如キハ紙幣ノ欠乏ヲ告クルニ際シ銀貨
ヲ抵当トナシ日歩貸シヲナシ漸ク其期限ニ迫ルニ及ンテ
生糸ヲ買入ル、モノナシトイヒ難シ果シテ以ノ如キ弊ヲ
醸成スルハ直接貿易勧誘ノ為ニ貸附シタル前為替金ハ
其意趣ヲ失スルヲアラシム故ニ前為替金ヲ貸附ルモノハ太
別シテ之ヲ言ヘハ閑港地遠隔ノ地ハ期限ヲ長クシ接近ナ
ル地ハ製糸器械等ヲ所有スルモノ、外タトヒ前金ヲ貸ス
モ其期限ヲ短縮セサル可ラス其期限ヲ定ムルニ長短適宜
ヲ得ルハ当局者ノ尤モ注意ヲ要スヘキ処ナリ又貸物ニヨ
ツテ期限ヲ伸縮スルモノハ生産セシ後更ニ一次人工ヲ經
テ輸物トナルモノ或ハ工業上ヨリ成立ゾモノ即生糸ノ
如キト虽氏器械ニ用フル為ニ要スル資財ト既ニ糸トナリ

モノヲ團結シテ之ヲ開港地ニ運搬スル資本ハ必ス其實際ニ於テ時日ノ長短ヲナスナリ故ニ擔當者能ク之ヲ識別スヘシ

第六節 内地為替金利子之事

内地為替金ノ利子ハ輸出ヲ為スモノト開港地ニ於テ取賣セシトテ乞フ者トニヨフテ之ヲ増減スヘシ抑正金銀行カ為替ノ便ヲ助ケ前為替金ヲ貸與スル所以ノモノハ直接ノ貿易ヲ勧誘スルヲ以テ特別ノ保護ヲ與フルモノナリ然レニ製産者カ開港地ニ於テ取賣セントスルハ政府カ保護スルノ主義ニ及スル者ナリ故ニ貸付タル資本ハ一般普通ノ利子納シムルモノトス又初ノヨリ主義ヲ全フシテ輸出ヲナスモノハ正金銀行ニ收得スル利子ハ年三厘ヨリ過クヘカラス今ヤ利子ヲ推算スルニ其初メ為替ヲナストキ國立

銀行ノ保証ニヨフテ保護ヲ受タル製産者ハ國立銀行カ損益ノ責任トナフテ此融通ヲ得タルモノナレハ到底其國立銀行ニ對シテ幾分ノ手数料ヲ出スカ或ハ其日數ニ應シテ日歩ヲ出スカノ報酬ヲナサ、ルヲ得サルモノナリ故ニ正金銀行ハ其製産者カ費スヘキ處ノ惣額ヲ査定シ以テ普通ノ利子ト照算シテ利子額ヲ算定スヘシ

但シ製産者カ開港地ニ於テ取賣ヲナストキ其取賣シタル銀貨ハ正金銀行ニ收得シ製産者ハ紙幣ヲ以テ氣テ借受タル為替金ノ勘定ヲ解クモノトス蓋シ此勘定ヲナス期限ハ貨物ヲ賣捌キタル後永クトモ一週間ヲ限ルヘシ

第七節 海外為替金之事

各製産者カ輸出ヲナスニ方リ其貨物ノ船積証文ヲ持參セ、當日ヨリハケ月間ハ無利息ニテ為替金ヲ貸與スヘシ而

テハケ月ノ後利息成規及ヒ貿易会社ノ部止ムヲ得サル
高況ニヨフテ為替期限ニ之ヲ拂ヒ能ハサルモノハ一ヶ月
ニ付二朱ツ、ヲ増加シ都合十二ヶ月ニ至レハ是非氏為替
金ヲ納メシムルモノトス故ニ正金銀行ト貿易会社トノ間
ニ於テ其成規ヲ履行スルノ條約ヲ設ケ置クヘシ

第八節 為替金歩引ノ事

海外輸出為替金ハ生糸樟腦白蠟等ノ如キ相庭高低ノ甚シ
カラサルモノハ原價九分通りノ為替金ヲ貸與スヘシ其他
相場ノ昇降期シ難キモノハ八分七分六分ノ為替ヲ貸與ス
ルモノトス故ニ其貸物ニヨフテ歩引ノ増減スヘキ種別ハ
擔當者協議ノ上決定シテ普ク之ヲ通知シ置クヘシ

第九節 為替銀ト紙幣トノ差ニ係ル事

各製産者カ海外輸出ノ荷為替金ヲ借受ルモノハ紙幣ナリ
然レニ其貸物ヲ販賣シテ為替金ヲ拂ヒ入ルモノハ眞貨ナ
リ故ニ其初ノ荷為替金即紙幣ヲ借り受ルトキ紙幣ト眞貨
トノ相場ヲ確定シテ為替額ヲ定ムルモノハ第九節ノ如ク
歩引ヲナスト雖紙幣ト眞貨ノ相場ヲ定メス其貸物ヲ販
賣シテ眞貨ヲ以テ拂入ル、ノ時ニ際シ之カ相場ヲ定メ
ト欲スルモノハ為替ヲ貸付タル後八ヶ月乃至十二ヶ月ノ
月日ヲ経過スルモノナレハ其間ニ於テ紙幣眞貨ノ相場如
何ノ變動ヲナスモ知ル可ラス其變動ヲナスカ為ニ貿易會
社及ヒ製産者ト正金銀行ノ間ニ於テ損益ノ係ル處計リ難
キモノト言フヘシ果シテ然ラハ第九節ノ如ク為替金ヲ貸
モ若シ眞貨下落スルトキハ正金銀行ノ損トナリ差出シタ
ル為替金ハ其貸物ヲ賣出シタル代價ヲ以テ購フ能ハサル
計算ナル故ニ正金銀行ハ其紙幣眞貨未定ナル為替金ニ對

テハ原價九分通ノ為替ヲ償出スヘキモ止ムヲ得ス七分
五厘ヨリ以上ヲ償出サ、ルモノトス六分七分ナルモノ
モ亦隨テ之ニ準スヘシ

但シ紙幣實貨ノ變動ヲナスモ他ニ之ヲ購フノ道アルカ
或ハ抵当ヲ供フルモノアルニ於テハ第八節ノ如クナ
モ妨ケナシ

第十節

荷為替ノ貨物ノ真價ヲ注意スル事

海外輸出ヲナス處ノ貨物ハ其船積ヲナス以前貿易会社ヨ
リ之ヲ輸出スヘキヲ請求スヘシ然ラハ検査員ヲ派シテ其
貨物ノ如何ヲ調査シ其真價ヲ判定シ貿易会社ノ價標ト照
考シテ其真價如何ヲ注意スヘシ

第十一節

内外為替金豫算之事

直接ノ貿易ヲ特別ニ保護スル資財ハ運轉流通ノ便宜ヲ慮

リ全國製産者ニ公平餘澤ヲ蒙ラシメシトテ要スルカ為ニ
之ヲ豫算ヲ審カニセサルヘカラス故ニ製産者ハ直接ノ貿
易ニ輸出セントスルニ方リ先ツ便宜ノ貿易会社ニ就テ之
ヲ請求シ貿易会社ハ製産者ノ輸出セントスル貨物ノ見本
ニ就テ品詳ヲナシ豫シテ其輸出セントスルノ數額ヲ査定
シテ之ヲ一冊子トナシテ正金銀行ニ報告スヘシ是ニ於テ
正金銀行ハ各貿易会社ヨリ報告スル處ノ輸出貨物高ニ應
ジ資金ノ運轉ヲ豫算シ之カ報告ノ方案ヲ調ヘ之ヲ各貿易
会社ニ通知シ以テ豫算ノ基礎ヲ定ムヘシ

第十二節

三者信託之事

正金銀行ハ各貿易者ノ樞軸トナリ貿易会社ヲ使役スルモ
ナリ貿易会社ハ又各製産者ノ樞機ヲ掌握シテ製産者ヲ
使役シ全國輸出品ノ蕃殖ヲ謀導スルモノナリ果シテ然ラ

全國製造者ハ各貿易会社ニ付テ各自ノ營業ヲ擴張シ貿易会社ハ又正金銀行ニ付テ全國ノ製造者ヲ撫育スルモノト言フヘシ是ニ於テ之ヲコレハ以三者鼎足ノ位地ヲ失ハサレハ以テ政府カ直接ノ貿易ヲ開設スルノ大目的ヲ將來ニ期スルトチ得ルハ論ヲ強クサルナリ蓋シ直接貿易ノ事タルヤ特別ノ保護ニ依リテ其資本ハ既ニ充備シタルモノトセハ之ニ次ク者ハ則チ前陳ノ三者互ヒノ信認是ナリ今此ノ如キ鴻業ヲ起スノ時ニ方リ以三者特別ニ各自一己ノ利益ヲ得ント欲スルカ或ハ事ニ乘レテ條約ヲ破リ或ハ此高事ヲ談スルニ苟モ詐偽騙瞞ノ卑心ヲ挾ムカ如キハ實ニ其害ノ及ス所大ナリ抑商業ノ事タル甲ハ乙ニ約シ乙ハ丙ニ約シ丙ハ又丁ニ約シテ賣買運轉ノ道生スルハ言ヲ待ツス然ルニ其甲約ヲ破レハ乙ハ止ムヲ得ス丙ニ對シテ信ヲ

失シ丙ハ又丁ニ對スルノ義ニ背クハ又言ヲ待ツサルナリ故ニ以三者ハ前陳ノ利害ヲ覺知シテ互ニ信認ヲ厚クセザル可ラス所謂保護金ノ如キハ豫算ヲナスノ始メ大ニ注意ヲ要シテ賣買運轉流通ノ道ヲ失ハサラントチ要スヘシ若シ甲資本運轉ノ機ヲ失スルトキハ則チ乙丙丁悉ク以禍ヲ目前ニ蒙リ大業ヲナス能ハサルハ是独リ直接貿易ノ事ノミナランヤ

第十三節 特權ノ管理官ヲ要スル事

第十二節ニ於テ三者互ニ信認ヲ重ニスルハ起業ノ基礎タルヲ陳述シタリ今又一步ヲ進メテ執業ノ要領ヲ述ニ抑政府カ歲入ノ幾分ヲ割テ直接貿易ヲ保護セントスルノ目的タルヤ目下ニシテハ財政ノ困難ヲ故治シ將來ニハ我貿易ノ權利ヲ掌握セントノ意ニ外ナラサルヲ信ス果テ然ラハ

其大希望ヲ達シ得ルト得サルトハ先ツ其人ヲ得テ之ニ任
スル輕重ト其事業ヲ進ルノ目的ヲ決スルト否トニ由ルナ
リ然ルニ正金銀行ナル者ハ既ニ三百萬圓ノ資財ヲ下附セ
ラレ直接貿易ヲ保護スルノ責任ニ當ルモ未タ確乎タル目
的ヲ期セス又鴻業ヲ負擔スルノ責任アルヲ聞カス又利害
ヲ見ルモ之ヲ裁決スルノ權ナク偶々貿易ノ事ヲ議スル
モ恣々トシテ機會ヲ失スルハ現今ノ實際ナリ是ヲ以テ之
ヲ見レハ政府三百萬圓ノ資財ヲ下附スルモ未タ起業ノ順
序ヲ設ケサルモノト言フヘシ今ソレ鴻業ヲナスノ要領タ
ルヤ先ツ其事業ヲナスノ目的ヲ決シ能ク其順序ヲ定メ其
任ス可キト任ス可ラサルトノ事項ヲ識別シ其人ヲ撰定シ
テ之ニ責任ヲ負ヘ其決スヘキ事項ハ速ニ之ヲ決シテ貿易
ノ機會ヲ失ハサラントヲ要スヘシ今ヤ正金銀行ハ官民ノ

間ニ成立ツト雖モ政府巨額ノ金ヲ下附シテ貿易ヲ保護セ
ントスル大任ニ當ルハ通常銀行頭取如キノ能ク之ヲ管理
シ得ルモノニ非ス所謂英國銀行佛國銀行類似ノ性質ヲ有
スルモノナレハ該銀行ノ責任ハ直接貿易保護金ヲ左右ス
ルヲ得ル有權家之ヲ管理官トナリ銀行ノ事務ハ勿論貿易
ノ總體ヲ管理司令スルモノトス可シ夫レ故ノ如キ管理官
ヲ設テ其任ス可キヲ任セントスル所以ノモノハ凡鴻業ヲ
起スニ百事之ヲ担当スル者ハ唯目前ノ利害ヲ見ルヘキモ
ノニ非ス緩急取捨其腦髓ニ藏サソ変化ヲ未前ニ注意セザ
レハ瞬息間ノ機変ニ應スル能ハス况ヤ機會ノ迅速ナル電
光石火ノ如キ貿易事業ヲ負擔スルニ於テオヤ

第十四節

正金銀行ノ體裁

前陳數項ニ於テ東述スル所ニヨレハ正金銀行ハ既ニ鴻業

其間クノ樞軸ニ當リ從來該銀行ノ目的ハ必ス之ヲ変革セ
サルヲ得サルノ機會ニ迫レリ故ニ今之ヲ變革スルノ目的
ヲ二種ニ區分シ其利害ヲ左ニ掲ク

其一巨額ノ金ヲ正金銀行ニ下附シテ貿易ノ資財ヲ保
護スルモノトセハ銀行中更ニ一局ヲ設ケ該銀行ノ營
業資金ト珠保護金ハ全ク別種ノモノニシテ取扱ヲナ
スモノトスルカ取方ニヨフテミレハ大ニ簡便ナルカ
如レト雖此該銀行ノ營業ト此保護トノ事務ニ於テ區
域ヲ定ルト難ク或ハ混雜スルノ患アリ

其二正金銀行ノ軀裁ヲ變レ一步ヲ進メテ所謂英國銀
行佛國銀行ノ類ニ擬シ之ヲ政府ノ負担スヘキ銀行ト
ナシ從來ノ株主ハ従前ノ如ク据ヘ置キ若シ利益配當
ノ際ニ當リ之カ為ニ利益ノ減縮スルトアルトヤハ其

割賦金ノ不足幾許ヲ政府ニテ之ヲ請負ヒ株主ニハ相
當ノ利益ヲ興フルモノトス

以上ノ一二ヲ掲ケテ變革ヲ要スル所以ノモノハ政府カ巨
額ノ金ヲ該銀行ニ下附シテ貿易ヲ保護セントスルノ意趣ト
該銀行カ營業ヲナサントスル目的ト支離スルノ道理アル
カ故ナリ何トナレハ政府カ巨額ノ金ヲ該銀行ニ下附シテ貿
易ヲ保護スルノ精神ハタトヘ若干ノ損失アルモ敢テ之ヲ
顧ミス普ク輸出ノ貿易ヲ助ケ全國ノ公益ヲ起サントスル
ニアリ之ニ反シテ正金銀行ハ官民ノ共同ニ成立ケ其注意
スルニ株主ハ利益ヲ増殖セニトテ祈リ頭取其他ノ役員ハ
自ラ任シテ該銀行ノ利益ヲ謀ラサルヲ得サルハ自然ノ道理
ナリ果テ然ラハ政府カ下附スル巨額ノ金額ハ利益ヲ要ス
ルモノニ非ルモ銀行營業ノ目的ニ混同シテ遂ニ政府遠大

ノ目的ヲ決スルモ知ル可ラス故ニ能ク此利害ヲ識別スル
ハ現今起サントスル直接貿易最大ノ要領トス其一点ニ就
テハ他日更ニ愚意ヲ陳スル所アルヘレ

貿易会社之事

凡ソ貿易会社タルモノハ内地製産者ト正金銀行トノ中間
ニ在テ双方ノ信認者トナリ内地ノ物産ヲ海外ニ輸出シテ
之カ販賣ヲ勉メ且其資金ヲ運轉調理スルヲ以テ任トス
而テ其貿易會社ノ性質ヲ區分スレハ左ノ如シ

第一節

貿易会社性質ノ辨

貿易会社ハ大別シテ三種ニ分ツ

第一 依托販賣貿易会社

但シ自己ノ貨物ヲ賣買スルヲナク全ク他人
ノ依托品ノミヲ販賣スルモノヲ云フ

第二 自己販賣貿易会社

但シ他人ノ依托品ヲ販賣スルヲナク全ク自
己ノ貨物ヲ販賣スルモノヲ云フ

第三。自他兼賣貿易会社

但し他人ノ依託品ヲ販賣シ又兼テ自己ノ貨物ヲ販賣スルモノヲ云フ

此ノ如ク區別セントスルニ方リ論者或ハ言フ凡ソ貿易会社タルモノハ判然ト依託販賣ト自己販賣ノ區別ヲ立テ依託販賣貿易会社ハ自己販賣ヲ兼任スルヲ許サス自己販賣貿易会社ハ依託販賣ヲ兼任スルヲ許ス可ラス何トナレハ若シ依託販賣ト自己販賣トヲ兼任スルトキハ海外支店ニ於テ依託貨物ト自己ノ貨物ト相混合シテ儲蓄スル理由ナリ然ルニ其貨物ヲ販賣セントスルニ際シ相場ノ變動ヲ起シ速ニ之カ販賣ヲ要スルヲアラハ該支店ハ必ス先ツ自己ノ貨物ヲ販賣シテ後他人ノ貨物ヲ販賣スルハ人情ノ自然ニシテ亦敢テ之ヲ咎ムル能ハサルヘレ果シテ此ノ如クナ

レハ其他人ノ貨物ハ遂ニ賣機ヲ失スルカ為メニ思ハサルノ損害ヲ依託人ニ蒙ラシムルヲアラシ是ヲ以テ之ヲ觀レハ自己依託ヲ兼任スルハ依託者ノ為メニ甚不利ナルモノナルカ故ニ之カ兼任ヲ許サ、ル可レト是レ或ハ然ラシ然レモ前陳ノ如ク區別ヲ三種ニ分チ各自ノ欲スル所ニヨリテ設置スルヲ許スハ又注意ヲ要スル処アルカ故ナリ今詳カニ之ヲ説カンニ論者ノ言フカ如ク依託販賣ト自己販賣トヲ判然區別スルトキハ其依託販賣ナルモノハ恐クハ該社ヲ維持スルノ利益ヲ收得スルヲ得サルヘレ何トナレハ依託販賣貿易会社ハ元是レ自己ノ貨物ヲ賣買スルヲナリ全ク他人ノ依託スル貨物ヲ販賣スルモノナルカ故ニ凡ソ一ケ年ニ其依託品販賣ノ額百五十萬円ト假定シ百円ニ付口銭貳円五拾錢即チ二分五厘ノ手数料ヲ收得スルモノト

セハ其一ヶ年ニ得ル所ノ額三萬七千五百円ニ過キス其三萬七千五百円ヲ以テ歐米各國ニ支店ヲ開キ或ハ内地ニ本支店ヲ設ケ數多ノ人負ヲ使役スルニ於テハ其一ヶ年間ニ消スル所ノ費用ハ實ニ巨額ナルモノト言フヘシ殊ニ海外ニ支店ヲ設ルニ於テハ前陳ノ手数料ハ或ハ其一支店ノ為ニ消費スルニ至ルモ未タ知ル可ラス故ニ今依托販賣ト自己販賣トヲ區別スルハ此創業ノ際ニ方リタトヒ其利害ヲ察知スルモ實地ニ之ヲ履行シ能ハサル所ナリ是ヲ以テ之ニ兼任ノ自由ヲ與ヘントスルモノハ前陳ノ如キ過多ナル費用ヲ償ヒ得可ラサルヲ察知スルヲ以テ該会社カ利益ヲ得ヘキ貨物ト見レハ之カ賣買ヲナサレノ得ル所ノ利得ヲ以テ前陳費用ノ幾分ヲ償ハレメントスルノ意ニ外ナラス此ノ如ク論シ來ルモ論者ニ於テ猶自他兼賣ノ貿易会社ハ

依托人ノ為ニ不利ナリト言ハ、更ニ之ニ答ヘントス若シ論者ノ所見ノ如ク果シテ實地ニ不利ナルヲアラハ各依托人ハ遂ニ其兼任ノ貿易会社ニ貨物ヲ依托セサルヤ疑ヲ容レズ貿易会社モ亦依托人減少シテ自己ノ不利ナルヲ覺知セハ自他兼賣ハナサ、ルヘシ故ニ兼賣ヲナストナサ、ルトハ各貿易会社隨意ノ目的ニ任シテ可ナリ猶反復考視スルニ仮令ヒ各義ハ依托販賣貿易会社タルヲ唱フルモ海外ノ高況ニ由リ目下其ノ貨物ヲ輸送セハ必ス巨額ノ利益ヲ得ルヲアリト見ハ他人ノ各義ヲ以テ其貨物ヲ買得レシ之ヲ他人ノ依托品ト唱ヘテ販賣スルヲ得ルノ道アリ然ラハ則チ依托販賣ノ各義ヲ以テスルモ其實際ハ他人ノ敢テ之ヲ知ル能ハサル所ナリ論者之ヲ玩味セハ思ヒ半ハニ過シカ

第二節

貿易会社資本金之事

貿易会社ハ依此自己販賣ノ區別アルニ拘ハラズ其資本金ヲ要スルノ方法ヲ尤ノ二種ニ分ツ

其一甲ノ貿易会社ハ資本金何拾萬圓ヲ積ミ愈其營業ヲ確定擴張センカ為ノ管理官ニ臨時帳簿ノ検査ヲ請フ者

其一乙ノ貿易会社ハ資本金何拾萬圓ヲ積ムモ帳簿ノ検査ヲ要セサル者

右甲乙貿易会社ノ區分ニ由リ政府ハ之ヲ保護スルニ輕重ヲ立ツヘシ乃甲ノ貿易会社ハ管理官カ其帳簿ヲ検査シテ營業ノ実況ヲ査定スルモノナレハ例ヘハ資本金ノ七分通リ乃拾萬圓ニ付七萬圓ノ額マテハ前為替金ヲ貸與シ或ハ該会社ノ保証ニ依テ製産者ニ前為替金ヲ貸與スルヲ認可スベシ

但シ帖簿ヲ検査シテ若シ該社ニ損失ヲ負フタル片ハ其存在スル資本高ニ由テ此割合ヲ減縮スル

トス乙貿易会社ハ管理官帳簿ノ検査ヲナサズ營業ノ實際ヲ知ラサルカ故ニ前為替金ヲ要スルモ製産者ノ保証ヲラシテ欲スルモ必ラス抵当物ヲ備フルモノトス但シ信用上ヨリ特別ニ出ルモノハ以限リニ非ス

第三節 貿易会社營業年限

凡ソ貿易会社タルモノハ明治十四年ヨリ向フ十年即明治二十三年十二月迄ヲ一期トシ之カ設立ヲ認可スルノ命令狀ヲ附與シ此十ヶ年間ハ政府ト該会社ト盟約ヲナシ其主義ヲ變更セサルモノトス

第四節 貿易会社營業主目

凡ソ貿易会社タルモノハ其性質ヲ異ニスルモ該会社ノ負擔スヘキ責任ノ大主目ハ之ヲ命令狀中ニ掲ケテ認可スヘシ該会社ハ必ス確實ニ其大主目ヲ導奉スルモノトス

第五節 貿易会社罰則

各貿易会社ハ第四節ノ大主旨ニ對シ悖反ノ所業ヲナスコトアルトキハ断然会社ノ營業ヲ禁止シ若クハ之ヲ停止スヘシ

第六節 貿易会社保護監督之事

貿易会社タルモノハ内地製産者ト正金銀行トノ中間ニ在テ双方ノ信認トナリ直接ノ貿易ヲ擴張スルノ媒介者タルハ論ヲ俟タス故ニ其擔任スル事務ノ正實ナルト否トニヨツテ全國製産者ハ其利害ヲ蒙ルモノナリ蓋シ該会社ノ義務其當ヲ得レハ全國製産ノ蕃殖ヲ促シ若シ其當ヲ失スレハ及ツテ其減縮ヲ見ルヘシ故ニ政府ハ厚ク該会社ノ營業上ニ注意シテ其利ヲ勸メ其弊ヲ矯メンコトヲ務メ高務局長ハ管理官トナツテ之ヲ保護シ之ヲ監督スルヲ要ス

但シ監督ノ制限及ビ該社簿記調査等ノ方法ハ適宜ノ成規ヲ設ケ該会社モ亦其成規ニ從ツテ營業ヲ擴張スルモノトス

第七節 貿易会社營業制限之事

保護貿易会社營業ハ左ノ如シ

- 一 自己ノ貨物ヲ輸出シテ販賣ヲナスコト
- 一 製産者及輸出貿易者ノ依托スル貨物ヲ輸出シ之ヲ販賣スルコト
- 一 製産者及工業者ハ資財ヲ貸與スル事
- 一 開港地ニ於テ輸出品ヲ抵當トナシ金融ヲ補助スルコト
- 一 海外ニ輸出シタル貨物代價ノ十分ノ一ハ輸入品ヲ買入シ之ヲ内地ニ於テ販賣スルコト

一 諸官省ノ需用品ヲ海外ニ於テ買得レ之ヲ納ムル
一 海外輸出ノ為メニ要スル所ノ為替ハ勿論内地製産
者ノ為替ヲ支辨スル

以上セケ余ト定ム此条目ノ外他ノ高業ニ関涉スルヲ許サ
ス蓋シ斯ノ如ク制限ヲ立ルモノハ前為替金ヲ貸與スルカ
故ナリ若シ会社ニシテ前金ヲ借ラヌ生産者カ前為替ノ為
ニ保証トナルヲ要セサルモノハ此限ニ非ス又セケ條ノ外
ニ他高業ニ関セサルヲ得サル所ハ更ニ認可ヲ受クヘシ

第八節 貿易会社報告ノ事

該会社ノ報告ヲ左ノ三種ニ分ツ

其一ハ外国支店ニ於テ注意スル所ノ報告ハ定期ノ飛
脚船コトニ之ヲ送附シ本社ニ於テハ普ク之ヲ製産者
及ヒ同業者ニ通知シ猶新聞社ニ投寄スルヲ務ムヘシ

其二各自営業上實際ノ景況ハ命令状ノ意趣ニ基キ之
ヲ報告スヘシ

其三我全国ノ高工業ニ大關係ヲ有スル高況ノ變動ヲ
見ル所ハ電信ヲ以テ之ヲ報告スヘシ

第九節 貿易会社同業信認之事

貿易会社ハ同業互ニ親睦ヲ厚フレ長短相補ヒ利弊相助ケ
恊和一致ノカラ以テ營業ヲ擴張スル目的ノ申合ヒ規則ヲ
調整シ連判ヲナシ各社交コモ一通ヲ收置キ永ク其盟約ヲ
失ハサルモノトス但シ此申合セ規則ハ追テ同業恊議ノ上
決スヘキノ事ナリト虽モ其大目ヲ擧ニたノ如シ

- 一 同業者ハ親睦ヲ厚クシ長短相補ヒ互ニ便宜ヲ交換シ
- 一 恊和一致シテ以テ此營業ヲ擴張スルノ意趣
- 一 同業者ハ互ニ競争ヲ為ス可ラサルノ意趣

一 同業者ハ海外ノ商況ヲ製産者ニ報知シ之カ注意ヲ興
ヘ且其依托サレタル貨物ヲ販賣スルニ方リ製産者ノ
信認ヲ為スヘキ報告ヲ要スルノ意趣

一 海外ノ支店ヨリ商況ノ報告ヲ得ルトキハ各同業者ニ
之ヲ報告シ同業者ノ参考ニ供スヘキ意趣

一 同業者ハ製産者ノ輸出品ヲ保証スルノ時品評ヲナス
ニ當リ改良ヲ勸ルニ能ク之ニ順從スルモノハ其保証
トナリ順從セサルモノハ同業者一般之カ保証トナル
可ラサルノ意趣

一 各製産者貨物ノ輸出ヲ同業者ニ依托シタルトキ若シ
製産者有心故造ヲ以テ偽物ヲ製シ或ハ見本ト本品ト
ヲ異ニシ或ハ粗悪ノ品ヲ混合シ或ハ汚物ヲ混入シタ
ルモノ等アルヲ査見スルニ於テハ之ヲ教戒スル方法

又其甚シキヲ見ルハ之ヲ同業者ニ報告シテ時ニ或
ハ其製産者ト取引ヲ為スヲ停止スル等ノ意趣

一 同業者中海外諸國ニ於テ其支店ナキ者ハ互ニ代理店
トナリテ販賣ノ事務ヲ弁理スル意趣
一 製産者ニ對シ取結フヘキ條約ノ件々ハ同業者協議ノ
上一定ノ方法ヲ設クル意趣

但シ口錢手数料等モ評議ノ上一定ノ額ヲ定ムルモ
ノトス其他同業者中申合セノ要件

如此同業者協議ノ上申合規則ヲ整理シ以テ營業ヲ擴張ス
ルモノトスヘシ而テ若シ此盟約ニ反シテ同業者中ノ妨害
ヲナスモノアルトキハ法ヲ設テ之ヲ戒シムルモノトスヘ
シ

但シ此第九節ハ貿易会社中ノ協議上ニ成立ツモノタル

ヲ以テ同業者會議ヲ開キ詳細ノ規則ヲ整理スベシ

第十節 貿易会社ハ各貨主ヨリ保証ヲ乞フノ順序

凡ソ全國ノ製産者及ビ輸出貿易者ニ於テ貨物ヲ海外ニ輸出セントスルニ政府ハ保護ヲ請ハント欲セハ便宜ノ貿易会社ニ照会シテ先ツ其輸出セントスル貨物ノ見本ヲ送附スヘシ貿易会社ハ其貨物ノ品評ヲナシ其數額ヲ調査シ輸出ニ供スヘキノ保証ヲナスヘシ而シテ製産者及ビ輸出貿易者ハ此保証ヲ得テ然ル後成規ノ順序ニ從ヒ保護ヲ得ル者トス蓋シ貿易会社ハ貨主ノ保証トナルニ際シ製産者ヲ教誨誘導スルノ注意ヲ要スヘシ乃チ其品位ヲ評論シ改良ヲ勸メ品位ノ精粗ハ損害ニ密接スルノ道理ヲ論シ製産者ニ於テ能ク之ニ順從スルモノハ前為替金ヲ貸シ順從セサルモノハ之ヲ保護セサルトノ意ヲ用フヘシ

但シ保護ヲ乞フノ順序ハ製産者ノ部分ヲ論スルニ至リ詳述スル所アリ今茲ニ畧ス

第十一節 貿易会社貨物検査ニ付テ責任之事

各製産者カ輸出ノ貨物ヲ依托スルトキハ十分ノ検査ヲナシ當時ノ相場ヲ判定シテ之ヲ正金銀行ニ告知ス可シ正金銀行ハ貿易会社ノ検査ヲ信認シテ海外輸出ノ為替金ヲ貸與スルモノナレハ若シ其貨物検査ノ十分ナラサルヨリ生スル所ノ損害ハ即チ貿易会社ニ向テ之ヲ請求スルモノトス貿易会社ハ又責任トナツテ之ヲ購フヘシ

第十二節 貿易会社開港地ニテ貨物販賣ノ處分

各製産者カ直接貿易ノ輸出ヲ変シ開港地ニ於テ直ニ之ヲ販賣スルモノアルハ先ツ其意趣ヲ貿易管理官ニ述ヘ認

可ヲ得テ之カ取賣ヲナシ其代銀貨ハ正金銀行ニ收メ嚮ニ
貸附タル為替金ノ勘定ハ紙幣ヲ以テ結算スヘシ但シ此結
算ヲナスニ方リ紙幣ト銀貨ノ差ハ長クトモ一週間ノ内ニ
於テ之ヲ定ム而テ貿易会社ハ成規ノ手数料ヲ收得スルモ
ノトス

第十三節

各貿易会社輸出品額ノ豫算法

貿易会社ハ其製産者ヨリ照會ヲ受ケタル貨物ノ數額ヲ調
査シテ速ニ之ヲ正金銀行ニ通報シ銀行ノ諾否ニ依テ其海
外ニ輸出ヲナス金額ノ豫算ヲ立ツルモノトス但シ此豫算
ハ遲クモ二ヶ月前ニ調査シ之ヲ正金銀行ニ報告シタル後
正金銀行ハ資金ノ出入ヲ稽查シ其貿易会社ノ求ニ應スヘ
キ金額ヲ算定シテ之ヲ貿易会社ニ示シ会社ハ之ニ依テ又
其輸出額ノ豫算ヲ増減スヘシ抑モ前為替及ヒ海外為替ノ

保護ヲ受ル直接貿易ノ輸出品ハ正金銀行資本、繁潤ニヨリ
制限アルモノタルヲ以テ其保護ヲ乞ハントスルモノハ仮
令ヒ確實之抵当物ヲ備フルニモセヨ其順序ヲ經ルニアラ
サレハ妄ニ保護ヲ與ヘサルモノトス何トナレハ正金銀行
ニ於テ資金ノ運轉ニ注意スル所アルヲ以テナリ

第十四節

貿易会社海外ニ於テ貨物取扱ノ事

貿易会社海外支店ニ於テ保護為替附ノ貨物到着セシトキ
該支店ニ於テ手續ヲナスヘキ條々左ノ如シ

- 一 貨物到着セシ片ハ船積証書及ヒ送り状ノ寫シヲ製シ
遅クモ到着ヨリ三日限リニ正金銀行支店及ヒ代理店
又ハ領事館ニ之ヲ差出スモノトス
- 一 貨物到着シテ之ヲ受取タルトキハ最モ速カナル船便
ヲ以テ之ヲ報告スルハ勿論候マテ其貨物ノ景氣ヲ詳

カニ本社ハ告知スルヲ要ス

但シ本社ハ此報告ヲ得ルヤ否ヤ其寫ヲ以テ速ニ之ヲ貸主ヘ報スヘシ

一 到着シタル貸主ヨリ販賣指直アルモノハ其指直ヲ得テ速ニ賣捌クヲ務ムヘシ又指直ナキモノハ支店ノ主任者能ク賣買ノ機ヲ判決シ務メテ貸主ニ利益ヲ與ヘンコトヲ要スヘシ

但シ貿易管理官ハ此ニ於テ貿易会社支店カ能ク賣買ノ機ヲ得タルヤ否ヤヲ注視スルヲ要ス其注意スルノ方法ハ貿易会社支店ヲ設クル土地ノ高況ヲ査定シ各種貨物ノ相庭表ヲ作り各貿易会社支店カ販賣シタル價格ト對照シ以テ其得失ヲ察スルニアリ

一 海外支店ニ於テ保護為替附ノ貨物ヲ販賣シタル片ハ

速ニ前陳ノ正金銀行支店及ヒ其代理店ニ為替金ヲ拂入ルモノトス

但シ此項ニ就テ若シ海外支店カ有心故造ニ出テ既ニ賣却シタル貨物ヲ未タ賣却セサルモノトナシ為替金ヲ拂入レサルコトアルモ知ル可カラス故ニ同業者ハ互ニ之ヲ注意スルハ勿論貿易管理官ニ於テハ此弊ヲ戒ムルコトニ注意セサルヘカラス

一 海外支店ニ於テ販賣ヲ負担シタル貨物アルモ高況振ハス販賣ス可キノ價ヲ得スレテ止ムコトヲ得ス為替期限ヲ経過スルモノハ成規ノ如ク利子ヲ附シテ更ニ之カ猶豫ヲ乞フヘシト虽氏其カ猶豫ヲ乞フニ於テハ販賣ノ機ヲ得サルノ証書ヲ差出スヘシ蓋シ販賣スルコト得タルノ証書タルモノハ相庭状是レナリ故ニ貨物

ノ相度ハ常ニ報告スル處ノモノト又其當時ノ新聞等ニ抄クル處ノモノトヲ照較シテ其高況ヲ述ルモノトス

但シ此ニ於テ貿易管理官ハ既ニ調査シタル前陳ノ相度表ト該支店ノ報告書トヲ照考シ其支店主任者ノ処置如何ニ注意スヘシ

一 保護為替附ノ貨物取扱クハ普通ノ考法ニ則リ嚴ニ之ヲ注意スルハ論ヲ待タス

以上掲クル處ノ要項ニ於テ其之ヲ嚴ニ戒シノ嚴ニ注意スルノ件々ハ貿易会社認可命令狀中ニ掲ケテ愈此取扱ヲ鄭重嚴密ナラシムルモノトス

第十五節 貿易会社輸入品買収之事

各貿易会社海外支店ニ於テ販賣スル所ノ金額十分ノ一ハ

該会社ノ請求ニヨリ輸入品ヲ買収スルヲ認可スヘシ今其十分ノ一ノ金額ヲ以テ輸入品ノ買収ヲ認可スル所以ノモノハ將未貿易会社ハ其營業ヲ擴張スルニ隨ヒ獨リ輸出品ヲ販賣スルヲ務ルモノニ非ス必ス輸入品ヲ買収シテ之ヲ内地ニ販賣シ輸入品ニ於テモ外國人民ト競賣ヲナシ内地人民ニ輸入品ヲ廉價ニ買得セシムルノ基礎ヲ固カサレハ所謂貿易ノ權利ヲ我ニ掌握スル能ハサルハ言ヲ待タス故ニ今ヨリシテ販賣代價ノ十分ノ一ハ輸入品ヲ買収スルヲ認可シテ其將來ニ要スル所ノ經驗ヲ集フヘシ

第十六節 貿易会社ノ數ヲ定ムル事

凡ソ貿易会社タルモノハ依託自己販賣ノ區別ヲ論セス妄ニ社數ヲ增加スルハ甚タ不可ナリ何トナレハ社數ノ増加スルニ隨ヒ同業者ハ外地ニ於テ競争ヲ始ルノ弊ヲ生ス

ルニ至ルハ陳ノ如ク豫ニ其競争スル情状ヲ為メ故ニ前
者中互ニ申合規則ヲ立テ却モ直接貿易ヲ開クニ方リテ外
國人民ト競争スルハ固ヨリ容易ナリトセズ是ヲ以テ其初
ヨリ外國人民ニ對シ競争ノ精神ヲ養ヒ以テ直接ノ貿易ヲ
擴張スヘキニ及シテ各貿易会社カ互ニ競争ヲナスノ情状
アルニ於テハ肝要ナル外國人民ト競争ヲナスノ勢力ヲ失
ヒ遂ニ直接ノ貿易ハ將來ノ目的ヲ期スル能ハサルニ至ラ
シ又貿易会社ノ營業上ヨリ之ヲ觀ルモ限リアル資財ヲ以
テ輸出ヲ促シ其輸出額ニ應ジテ手数料ヲ取ルヲ以テ營業ヲ
ナスモノトスレハ社教ヲ増加スルニ隨ヒ其取得スル所ノ
手数料ハ益減縮シテ各会社ハ自ラ維持スル能ハサルハ言
ヲ待タス故ニ貿易会社ハ適宜ノ社教ヲ確定シテ更ニ之ヲ
増加セサルモノトス可シ今ヤ貿易会社ノ設置ハ世ニ之ヲ

競フノ景況アリト虽氏政府ハ猥リニ之ヲ認可スルヲナク
凡ソ三ヶ年以上自費ヲ以テ海外ニ支店ヲ開キ或ハ巨万ノ
貨物ヲ輸出シテ海外ノ商業ニ往驗ヲ積ミタルモノ其会社
ヲ管理スルニ非レハ之ヲ認可セサルモノト確定スルヲ要
ス此ノ如キ名義ヲ要セハ當時設置シタル会社ノ外恐ラリ
ハ本支ノ往驗ヲ積ミタル者ナカルヘシ猶之ヲ希望シテ
止マサルモノアルハ今ヨリ更ニ私費ヲ以テ三ヶ年以上
往驗ヲ積ミ海外ノ商業ヲ實驗セシムルモノトス
直接貿易会社タルモノハ其理ヲ推究スレハ政府ノ獨斷ヲ
以テ之ヲ撰定スルノ權ナシ何トナレハ官民共同ニ成立タ
ル正金銀行ノ信用如何ニ關係シ政府獨リ之ヲ可トスルモ
銀行ニ於テ不可トスルトキハ政府モ特權ヲ以テ其社教ヲ
増減スル能ハサルモノト謂フ可シ

製産者之事

直接貿易ノ輸出品製産者ハ政府カ特別ノ保護ヲ與フルノ
意旨ヲ遵奉シテ物産ノ増殖ヲ謀リ其品位ヲ改良スルノ注
意ヲ厚クスヘシ今其要條ヲ擧ル左ノ如シ

第一節

政府カ直接貿易ヲ保護スルノ目的ハ貨物ヲ改良シ増殖ヲ
促ス意旨タルカ故ニ製産者カ其保護ヲ乞ハントスルニ當
リ貿易会社ニ見本ヲ出サセ精粗ノ品評ヲ為サシム爰ニ於
テ貿易会社ハ販賣ノ損益貨物ノ精粗ニヨリテ生スルノ理
由ヲ製産者ニ懇諭シ改良ノ精神アルモノカ或ハ増殖ノ効
ヲ見ルモノカヲ信認スルニ非レハ各貿易会社ハ之ヲ保証
セサルノ意旨ヲ豫シテ製産者ニ理會セシメ置テ要ス又
製産者ハ自ラ改良ヲナシ自ラ増殖ヲナスノ精神

アルニ非シ、妄ニ持尺ノ保護ヲ受クル能ハサルノ意旨ヲ
理會スルニ

第二節

製産者第一節ノ如ク貿易会社ヨリ輸出ニ供スヘキ貨物ヲ
ルノ保証ヲ得テ後為替及前為替金ヲ乞ハントスルトキハ其
管轄府縣勸業課又ハ便宜ノ国立銀行及ヒ貿易会社ニ就
テ正金銀行ノ承諾ヲ乞ヒ受ケ始メテ保護ヲ受クルモノト
決定スヘシ而テ其為替前為替金ヲ受取ルノ順序ハ九ノ二
種ニ分フ

其一便宜ノ国立銀行ニ就テ成規ノ抵当物ヲ預ケ置キ
為替金ヲ収得スルモノトス但シ該銀行ハ其製産者ニ
為替金ヲ貸出シタル以上若シ製産者ニ不都合ノ事ア
レトキハ正金銀行ニ對シテ其為替額ヲ購ハシムルノ

媒込者タリ故ニ製産者ハ抵当ヲ供ヘ勸業課へ預ケタ
地券預り書又

ハ公債
証書 猶且ツ手数料或ハ利子ヲ該行へ拂フヘシ

但シ通常荷為替ノ如ク貨物ヲ見テ為替ヲ出シタル
モノハ正金銀行或ハ貿易会社ニ其貨物ヲ収得スル
迄ノ損益ハ該銀行ノ責任タルヘシ

其二貿易会社ノ都合ニヨリ為替及前為替金ヲ貸與ス
ルトアルヘシ是レ製産者ノ便宜ヲ要スルモノタルヲ
以テ抵当物ト利子口銭等ハ互ヒノ示談ニヨツテ之ヲ
定ムルモノトス

右掲ケル所ノ方法ハ頗ル手数ニ涉ルカ如シト雖モ金銀貸
借ノトタルヤ尚便ニ出ルハ却テ煩擾ヲ招クノ本ナリ故ニ
鄭重ノ方法ヲ要ス又勸業課カ此事務ニ関涉スルカ如キハ
論者或之ヲ難スルモ知ル可ラスト雖モ目今我人民ノ地

位ヲ見^ルニ官廳幾分力之ニ関涉スルニ非レハ百事團結ス
ルヲ能ハス又府縣勸業課モ之ニ關係スルトキハ製産者ノ
為ニ幾分力ノ責任ヲ負フヲ以テ製産者ニ向フテハ自ラ監
督ニ任スルモノ、如シ然ハ則製産者モ保護ヲ受タル以上
遊惰疎漏ニシテ自ラ失策ヲナサ、ルノ戒心ヲ有スヘシ

第三節

政府ハ生産者ヲ保護スルニ成ルヘク一人一個ノ營業ヲ助
ケサルヲ要ス蓋シ目下金融壅塞ノ時ニ際シ各製産者ハ政
府ノ保護ヲ蒙ル^トヲ知ラハ其恩澤ニ浴シテ事業ヲ擴張セ
ントスルノ取向ニ傾クヤ必セリ故ニ以機會ヲ失セス全國
ノ製産者ニ共同合資ノ起念ヲ促サ、ル可ラス之ヲ促サン
ト欲セハ極メテ簡易ノ会社方法ヲ設ケ以テ会社ニ由ルモノ
ニ非レハ容易ニ保護スルヲ許サ、ル可レト云フノ意ヲ以

テ之ヲ誘起スヘシ然レハ則各製産者ハ始メテ共同合資ノ
効力ヲ知り会社ノ設立ヲ競フニ至ラン其ノ如ク人民結社
ヲ競フノ風潮ヲ全國ニ波及セレムルトキハ一人一個ノ資
力ヲ以テ高工ヲナスモ共同合資ノ会社ニ對シテ競争ヲ試
ミ勝算ヲ期スル能ハス又共同会社ニ非レハ大業ヲ營ミ得
可ラサルヲ覺知シ高風一変シテ漸次全國工商業ノ隆盛ヲ
見ルニ至ルヤ疑ヲ容レサルナリ故ニ今試ミニ簡易ナル會
社方法ヲ述ル左ノ如シ

第四節

共同会社簡易法概則

一 資本金 何萬圓

但シ一株貳拾五圓乃至五拾圓トス

通貨 何萬口

地券價何万口

但レ及別何程當時賣買真價ニシテ何萬口

合何萬口

右金額ヲ以テ会社資本トス而テ地券ナルモノハ凡ソ全國ノ地價ヲ見ルニ地租改正以降漸次騰貴ヲ来レ改正直段ニ比スレハ當時賣買ノ真價ハ必ス高直ナルモノニシテ今若シ活券ノ價格ヲ以テ之ヲ取得スルトキハ概シテ損失ハナキモノ、如シ故ニ資本金ノ内ニ活券ノ價ヲ株金ニ立テ候セテ該会社ノ資金ト定ムヘシ
一 会社株金ノ内ニ組込タル地券ハ直接貿易ノ保護ヲ乞ントスルニ際シ之ヲ管轄府縣ノ勸業課ニ預納シ該課ノ預リ書ヲ請取リ之ヲ以テ保護ヲ受ルノ抵当トナス為ソ

ナリ故ニ該勸業課ニ於テ之ヲ預ルトキハ土地ノ肥瘠及ヒ當時賣買スル處ノ真價ヲ記入シタル預リ証書ヲ出スヘシ

一 タトヘハ通貨四萬口地券六万口合テ拾万口ノ組織ヨツテ成立タル会社アランニ其一年營業ヲナス處ノ利益壹万五千口アリ之ヲ割賦スルノ方法ハ其通貨ヲ出シタルモノニ年七朱乃至八九朱ノ先取りノ利子ヲ拂フモノトス何トナレハ地券ヲ出シタルモノハ其田畑ヨリ収獲スル利益アルカ故ニ斯ノ如ク差異ヲ立テ地券ヲ出シタルモノト通貨ヲ出シタルモノト損益ヲ平均セシムルノ意ナリ乃其計算法左ノ如シ

一 純益壹萬五千口

内 三千二百口

但し通貨四萬圓ニ對シ年八厘ノ利子先取りノ分
差引 毫万千八百圓

之ヲ拾萬圓ニ割賦スレハ乃チ百圓ニ付拾毫圓八
拾錢ノ割賦ニ當ル

右ノ如ク通貨ヲ出シタルモノニ先取りヲ與フル利子額
ノ多寡ハ地券所有者カ其田畠ヨリ収獲スル所ノ益ヲ以
テ其地價ノ利子ニ比較シテ幾許ニ當ルト云フヲ以テ之
ヲ定ム然リト雖モ當時金融壅塞ノ時ニ際シ若シ地券ヲ
出サントスルモノ多ク通貨ヲ出スモノ少キトキハ其創
業ノ時通貨ヲ出スモノト地券ヲ出スモノト協議ノ上通
貨ヲ出スモノ先取りノ利子額ノ割合ヲ進メテ之ヲ定ム
ヘシ然ハ自ラ通貨ヲ出スモノ増加スルモノナリ又公債
証書ヲ出スモノヲルモ此地券ヲ出スモノト同一ノ道理

ヲ以テ取扱ヲナスモノトス

一 利益ノ割賦ハ通貨ヲ出スモノト地券ヲ出スモノト異
ナル道理アリト雖モ若シ該会社ニシテ損失ヲ招キタル
時ハ地券ヲ出スモノモ通貨ヲ出スモノモ同一ノ責ヲ免
レズ其株高ニ應ジ之ヲ購フモノトス

一 会社中投票ヲ以テ主任者ヲ立テ其任スヘキト任ス可
ラサルノ區域ヲ別チ其任スヘキ事務ハ之ニ任スヘシ會
社中ノ事務其利害得失ヲ決スルハ株券所有ノ多サヲ以
テ其權利ヲ定ル等ノ如キハ普通会社ノ方法ニ拠ルヘシ
以上会社組織ノ方法ハ唯其概畧ヲ擧ケルト雖モ元來会社
ヲ設立セントスルニ資本ノ募集法ト其損益ヲ負担スル方
法ヲ確定セハ其餘ハ協議ニヨルモ容易ナルヘシ猶其詳細
ヲ要スル時ハ他日之ヲ續述スヘシ

第五節

会社ニ成立タル製産者ニ次テ保護ヲ要スルハ輸出品ヲ製造スル器械ヲ所有スルモノト製産物ノ一次人工ヲ経テ輸出品トナルモノヲ取扱フモノ、二種ナリ蓋シ器械ニ属スルモノハ製糸器械ノ類人工ヲ經過スルモノハ寒天白蠟製茶ノ如キ類ヲ云フ

第六節

当時ノ輸出品ヲ視ルニ生糸茶等ノ如キ既ニ巨額ノ物産ト稱スヘキ貨物ハ之ヲ保護スルニ容易ナリト虽此團扇ハ子翫弄物等ノ如キ雜貨ハ目下其巨額ノ輸出ヲナサ、ルモ漸次數額ヲ増スノ景況アルハ在テ能ク知ル所ナリ然ルニ之ヲ製スルモノ概テ細民ノ工業ニ係ルカ故ニ或ハ品位ヲ粗ニシ或ハ時ノ流行ニ後レ海外販賣地ノ信用ヲ失ナレ或

ハ我罔港地ニ在ル外國高民ノ為ニ其價格ヲ壓制セラレ固有ノ聲價ヲ失フカ如キハ畢竟之ニ從事スル我高民カ注意ノ至ラサルヨリ斯ノ如キ弊害ヲ醸成スルモノナリ今ヤ直接貿易ヲ罔キ輸出品ノ増殖ヲ要スルニ方フテハ彼ノ雜貨ノ如キ一層保護ヲ厚クシ固有ノ聲價ヲ回復セサル可ラス然ト虽此雜貨ヲ製造スルモノハ數千ノ細民區々之ヲ製作スルモノナレハ之ヲ保護スルハ容易ナリトセズ故ニ之ヲ保護セントセハ須ラテ雜貨製造便宜ノ地ヲ撰シ勸工会社ヲ設置シ之ヲ勧誘スヘシ蓋シ前陳ノ如ク雜貨ノ製造ハ數千ノ細民區々ノ手工ニ係リ概シテ衣食ニ乏シキ窮民ノ業ナレハ勸工会社ナルモノハ資金ノ前貸シヲナレ其日用ノ不自由ヲ助ケ其職ニ安シテ其工ヲ勉シメ又流行ノ向フ所ヲ指示シ貨物ノ改良ヲ進メ内ハ以テ罔港地外高ノ壓制

ヲ脱シ外ハ以テ海外販賣地ノ信用ヲ固クスヘシ今其勸工
会社ヲ設置スル方法ヲ述ル左ノ如シ

一勸工会社ハ雜貨生産ノ土地ヲ撰ミ至当ノ会社數ヲ定
メテ之ヲ設置シ第一第二勸工会社ト稱フヘシ

一株主ハ其土地ニ於テ身元慥ナル有志者ヲ募集スルモ
ノトス

一資金ハ其土地雜貨ノ製出高ニ應シテ異同アルヘシ故

ニ株主ヨリ其消費額ノ三分一ヲ積ミ其三分ノ二ハ所

所謂前爲替金ヲ貸與シテ資財ノ融通ヲ助クヘシ

一会社ノ設置方ハ普通ノ方法ニヨフテ之ヲ組立テ雜貨

勸誘ノ事ニ注意アルモノナシテ以テ事務ヲ負担セシム

ヘシ

一職工ヲ過スルニ該社ノ誘導指示ヲ遵守スルモノハ之

ヲ保護セサルトノ意ヲ以テ職工ヲ勸勵スヘシ

一勸工会社ノ株主身元慥ナルモノヲ撰ム所以ノモノハ

其前金ヲ貸スニ當リ無抵当ヲ以テ融通ヲ助ケントス

ルカ爲ナリ以テ如ク特別ノ保護ヲ與フルモノハ該會

社カ職工へ前金ヲ貸與シテタトヒ若干ノ損失ヲ負フ

トアルモ前陳特別ノ保護方ニヨリ生スル所ノ餘裕ヲ

以テ以損失ヲ購ハシメントスルノ意ナリ

但シ職工ニ前金ヲ貸與スルハ甚々危キモノハ如シ

ト虽氏通常職工ヲ役シテ我指揮ヲ遵守セシメント

スルモノ多クハ前貸ヲ爲シテ彼等ノ便宜ヲ謀ルモ

ノナレハ其注意ヲ要スルニ於テハ之ヲ患フルニ足

ラサルナリ

右ノ目的ヲ以テ勸工会社ヲ設置シ其製造雜貨ノ精粗ヲ品

評し漸次改良を進ムルカ如キハ貿易管理官之ヲ任シ又工
商会社之ニ注意シテ勸工会社ヲ保護誘導スルトキハ我輸
出ノ雜貨ハ年々逐フテ隆盛ヲ得ルヤ期ス可キナリ又輸入
雜貨模造品ノ如キモ目下内地ニ於テ製造スルモノ日ニ月
ニ多キヲ見ル故ニ前陳会社同一ノ方法ヲ以テ東京大阪等
ノ都會ノ地ニ一二ノ会社ヲ設置セシメ勸誘保護スル中ハ
従来輸入ニ仰ク雜貨ハ内地ノ模造ニヨツテ支弁スルコト
得猶其餘力ヲ以テ遂ニ輸出ヲ謀ルコト得ヘシ但シ輸入品
模造会社ハ輸出品雜貨会社ノ如キ前為替ノ利便ヲ得サレ
ハ到底特別ノ方法ヲ設ケタトヘハ該會社資本貳萬圓ヲ積
ムモノハ公債証書抵当ヲ以テ二萬圓ヲ貸附シ其資力ノ半
額ヲ保護スルモノトセンカ今突然輸入模造品ノ如何ヲ陳
スルハ頗ル直接貿易ノ主義ニ戾ルカ如シト魚尾所謂摺附

水靴洋紙ノ類モ是レ模造ニ係リ今ハ海外輸出ヲナスモノ
ナリ是ヲ以テ之ヲシレハ模造品会社ノ事ニ論及スルモ強
クニ他岐ニ走ルニ非ルナリ

第七節

我製産物ヲ見ルニ其屈指タル生糸茶ノ如キハ既ニ其増殖
ヲ競フノ勢ヒ年一年ヨリ進歩ヲ徴シ之ヲ促サ、ルモ産出
ノ額ハ年々逐フテ増盛スルハ疑ヲ容レス唯其注意ヲ要ス
ルモノハ品位ノ改良ニ止マレモノ、如シ今将来ニ望ミテ
期スルモノハ海産物ナリ抑モ海産物ナルモノハ食料ニ供
スルモノ多ク其食料ニ供スルモノハ消費物ノ内ニ於テ無
盡ノ物産ト言フモ過言ニ非ルヘシ我國幸ニ島嶼ニ在リテ
岬無盡ノ物産ニ富ム宜シク速カニユレヲ起サシコトニ注
意セサレ可ラス故ニ政府ハ之ニ従事スルモノニ一層ノ保

護ヲ厚クスヘシ則チ支那地方ニ輸出スル北海道海産物ノ如キ或ハ鮑子鮑魚海鼠ノ類ヲ云フナリ
以上掲クル所ノ製産者保護ノ要領ハ当局者其利害ヲ審判シテ保護成規ノ目的ヲ確定シ之ヲ実施スルニ於テハ必ス其効ヲ奏スルモノト確信セリ何トナレハ此保護勸誘法ハ紙上空論ノ比ニ非ス其實際ニ就テ製産者カ切望スル資財ノ保護ヲ蒙ルト否トニ係ルモノナレハ製産者ハ当局者ノ希望スル処ノ隨意ニ誘導セラレ、ヤ明々白々タルヲ以テナリ故ニ直接貿易ヲ開クニ方ツテ製産者ヲ誘導シ貨物ノ増殖ヲ促シ品位ノ改良ヲ進ムルニ当局者十分ノ目的ヲ要セハ其目的ヲ達シ得ヘキノ時ナリ

國立銀行之事

全國々立銀行ハ直接貿易保護金ヲ流通スルニ當リテ正金銀行ノ代理ヲナスモノトス其取扱ヒ及ヒ責任ハ左ノ如シ

第一節

製産者カ貿易会社ニ照会シテ輸出ニ供スヘキノ貨物タル保証書及ヒ管轄府縣勸業課ノ添書ヲ持參シテ直接貿易ヲ為サレトテ述ヘ保護為替金ノ貸與ヲ乞フアル片ハ之ヲ正金銀行ニ照会スルモノトス

但シ此條ニ於テ製産者ハ突然銀行ニ就テ保護ヲ乞フカ如シト虽モ製産者ハ其始メ貿易会社ニ保証ヲ請ヒシ片貿易会社ハ既ニ正金銀行ニ之ヲ告知シタル豫算中ノモノタルヲ以テ正金銀行ハ之ニ為替金ヲ貸與スルノ目的ヲ期シタルモノナリ

第二節

第一節ノ照會ニヨリテ正金銀行ノ承諾ヲ得ルトキハ為替ヲ貸出スノ方法凡ノ如シ

第一款

輸出物品ヲ銀行ニ委託シテ荷為替ノ融通ヲ乞フトキハ普通荷為替ノ方法ニ準シ之ヲ取扱フベシ

但シ受取リタル貨物正金銀行ノ本店支店又ハ取扱ノ貿易会社ニ引渡ス迄ノ内ニ該荷物ヨリ生スル所ノ損益ハ該銀行ノ責任トス

第二款

輸出物品ヲ銀行ニ委託セス直接貿易保護為替及ヒ期限ヲ定メタル前為替ヲ借ント乞フモノハ成規ノ抵当物ヲ預リ之ヲ支辨スヘシ

但シ成規ノ抵当物ハ管轄府縣廳勸業課ノ地券預リ証書及ヒ公債証書ヲ云フ此他特別ノ保護ニ係ルモノハ正金銀行ヨリ兼テ之ヲ通知シ置クモノトス

第三款

直接貿易保護為替ノ責任ハ此為替ヲ貸附タル以上該製産者非常ノ災害ヲ招キ其為替金ヲ拂ヒ能ハサルトキハ抵当物ヲ没入スルニ止マルモ該銀行ハ此為替金ヲ貸附タル媒及者タルヲ以テ其製産者ニ向テハ常ニ監督ノ任ニ當ル者ナレハ製産者ノ營業上ヲ注意シテ豫メ非常ノ損害ヲ警戒スヘシト虽ヒ他人ノ營業ヲ左右スル能ハサルハ自然ノ道理ナリ故ニ若シ危害ヲ慮ラサルヲ得サルノ製産者ト見ルトキハ其初メニ方ツテ媒及者トナラサルヲ要ス

第三節

前節ニ陳スル爲替金ハ金融ノ如何ント土地ノ遠近ニ由テ
口錢及ビ手数料ノ異同アルモノナリ故ニ各銀行ハ正金銀
行ト協議シテ豫メ口錢手数料ヲ定メ普ク之ヲ廣告スルモ
ノトス

第四節

直接貿易保護爲替金ナルモノハ元是レ政府カ歳入ヲ割テ
特別ニ直接貿易ノ資本ヲ保護スルノ恩旨ニ出ルモノナレ
ハ各国立銀行ニ於テモ其意旨ヲ體認シ通常ノ營業ト同視
スルヲナク爲替金ニ付テノ口錢及ビ手数料ノ如キ務メテ
之ヲ減少シ厚ク製産者ヲ保護スヘレトノ意ヲ銀行課長ヨ
リ諭達ス可シ

前文陳述スル所ハ政府大意ノ在ル所ニ闡ク所謂井蛙ノ仰
テ天ヲ論スルモノニシテ恐リハ識者ノ嗤笑ヲ招カン然リ
ト虽トモ民間工高者ノ實際ニ就テ其利害ヲ推窮スルニ今
政府カ施設セントスル所ノ直輸貿易保護方法此大主旨ニ
挾ラハ獨リ直輸貿易ノ必勝ヲ期スルノミナラス全国ノ工
高業ハ爲ニ振起シテ貨物ヲ改良シ物産ヲ蕃殖スルヲ得工
高者ノ資力便宜流通シテ從來ノ面目ヲ改メ目下財政ノ困
窮ハ一憂シテ幸福ヲ來シテ國家ノ富强ヲ見ルニ至ルマ歎ヲ
容レス伏テ乞識者此愚案ヲ問題トナシ速ニ断決施行アラ
シテ懇祈ノ至ニ堪ヘス

附言

政府カ特別ノ保護ヲ以テ輸出品ヲ誘導スルニ方リ更ニ注意ヲ要スヘキモノアリ今ヤ輸出ノ製産者ハ特別ノ保護ニヨツテ資金ノ融通ヲ得製産物ハ隨テ原價ヲ低シ原價低スルニ隨テ製産者ノ利益ヲ増進シ利益増進スルニ隨ツテ自ラ製産ノ力ヲ備ヘ隨ツテ之ヲ蕃殖シ隨テ之ヲ改良スルニ至ルハ自然ノ道理ナリ然ニ我邦古來嶮難ノ地ヲ以テ守禦ニ備フルノ慣習アリテ全國各地方稍其市街ニ遠キモノハ道路狹粗多キニ居ル況ンヤ隣國相亘ヒスルノ地ノ如キハ到ル處峻險ナラサルハナシ故ニ運搬ノ為ニ費ス處巨額ニシテ偶々得ル所ノ生産物モ之カ為ニ原價ヲ進メ之ヲ販賣スルニ方リ其利益ヲ減縮スルモノ多シ以テ今輸出品ヲ

保護スルノ舉ニ付及復之ヲ考視スレハ獨リ意ヲ其貨物ノこニ用ヒス暇ヲ一般貨物ノ原價ヲ廉ニスルノ點ニ注カサル可ラス乃チ道路改良ノ如キハ一般貨物ノ原價ヲ廉ナラシムルニ於テ間接ニ利益ヲ進ムルモノナリ維新以來有志者アリ稍道路改良ノ舉ニ就クモ未タ九牛ノ一毛ニ及ハサレハ政府幾分ノ費用ヲ助ケテ人民ヲ誘導シ漸次改良ヲ進ルルハ日今ノ緊務トス猶海運ノ如キモ汽船ノ運送ニ頼ルトキハ費用増加スルカ故ニ風帆船ヲ用フルノ注意ヲ人民ニ喚起セサル可ラス其意ヲ約言スレハ直輸貿易ヲ擴張セント欲セハ内地ノ製産ヲ保護スレニアリ猶之カ隆盛ヲ促サンテ欲セハ海陸ノ運便ヲ閑クニアリト云フニ外ナラス因テ意見書ヲ結フノ亦ニ於テ一言ヲ附スルニ爾リ

